

教科別交流会 意見集約

R6 9月26日

【国語科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・教師による介入の研究 ・どこでどんな声掛けをするかが難しい ・小学校の取り組みに対して、ICT 活用の差がないようにしないといけないと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読むのが苦手→担当を決めて読ませる ・印象に残った言葉、気になった言葉を付箋に書く →正しい言葉の意味を定着 ・調べる→辞書、タブレット ・班で担当を決める ・「振り返り」はスッキリ（〇〇だからスッキリした）か、モヤモヤ（〇〇はもやもやが残る）か ・学習課題は選択式にする（色分けなどして視覚的にもわかるように）、課題解決のために教科書にかえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・読ませるような仕組みが大事 ・学習課題を自分たちで立てられるようになるのが理想、少しずつステップアップさせていく ・語彙力が乏しい生徒→その都度立ち止まらせて、辞書で調べる ・見方考え方を働かせるための手立て ・黒板はどのような使い方をするのが効果的なのか ・「まとめ」ってどうなるのか ・「振り返り」のあり方 ・規律をどのように整えていくのか。ポイントは。それがないとICTの活用が難しい。 ・低学年の使い方が難しい。（失敗が多い） ・共有はしやすいが評価が難しいと感じる。どうするのか。 ・書く時の筆圧や文字の字形がどうしても崩れるのはどのように対応するとよいのか。（どうしても書く回数が減るので） ・データ容量が厳しい。プロファイルエラーなどがあり、難しい。

【社会科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中で使える知識を身に着けさせることが大切だと思った。テストだけでは難しいところがある。 ・授業の目的自体は変化しておらず、タブレットをつかってやりやすくなるだけ。 ・授業の本質や目的を問う→どのように使っていくのか、将来～などが活用。 ・高校入試が着地点ではないとおもう。 ・最後は自分の言葉でまとめる、振り返る。 ・令和2年から河浦でICT研究を行っている。→だいぶ進んでいる。 ・段階を踏んで実践していく必要があると感じた。挑戦しようと思います。 ・教科書の使い方 どこに線を引いたのか確かめ合う時間があってよい ・板書の使い方 ・キャリア教育の視点が大切 将来を意識しなければ、目の前の学力にこだわることになる ・教科書の読み取りの質 子供同士で高め合わせる ・ペア活動やグループ学習を教師がデザインする視点 ・主体的・対話的で深い学びになっているかどうか ・内容の理解の深さ と 学び方の深さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・見方考え方を生徒の言葉でわかるようにして示しています。 ・教師のコーディネートがないと話が停滞してしまう。 ・苦手な生徒はマネしていいの？ ・紙はワークシートはいらないの？？ →特性にも合わせて個別最適にやっ ていく ・書くのが好きな生徒もいる。 ・チャットは振り返りや自己選択に使っている。 ・振り返りの視点 →めあての達成、時間配分、次の時間に向けて プルダウンで3段階評価 ・チャットを活用して学習課題に対する予想をたてる 学びのきっかけになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を変えようとする、不安を語られる先生に効果的な理由付けはないでしょうか？ ・生徒主体の授業にすると、知識がちゃんと定着しているか不安。(歴史が特に難しい) ・生徒主体の授業をする中で、1年間の授業時数が足りるのかが心配。 ・学びに向かう態度・人間性の評価はどうするのか ・何を板書するのか 板書をするべきなのか ・全体で何を発問するのか

【英語科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<p>・ICT を使うことが目的ではないということを改めてわかった。</p>	<p>・Ai に英語の発音を聞かせて文字おこしをさせている。 スプレッドシートをさせているが入力の問題がある。 英語を発音させて1分間あたりの文字数をカウントさせる。 書かせる、と入力するの選択をさせている。 手書きをする理由を聞くとタイピングが遅いからという。タイピングの指導はどこで？ 小学校でもプレゼン作成を行っている。しゃべることが主であるが、スライド作りに時間がかかってしまっている。 Google 翻訳やDeepLeなどは単語のみ調べるときで使わせている。</p> <p>・使う場面が増えれば増えるほどコミュニケーションの場面が減っていくような気がする。</p> <p>・英作文をストリームに</p> <p>・生徒の人数分スライドを用意し生徒それぞれに（一人一人に）英作文を書く時間を用意する→消えるなどの事故もあることが課題</p> <p>※人のものには書き足さないなどのルール徹底が必要</p> <p>・書く力について（書く力も必要）</p>	<p>・教科書を読んで、タブレットを使って、書いて、などなどタブレットを使う場面の相性。どの場面で使わせるのが効果的か。</p> <p>・家庭学習の使用法</p> <p>・デジタル教科書の効果的な利用法（聞く→ヘッドホン（安価である））</p> <p>●子供の進度が目に見えない。</p> <p>○大事なところに線を引く（タブレットは消すことができる）</p> <p>○音読の練習（家庭学習でもできる）</p> <p>●学習習慣のついていない生徒には難しい。</p>

【音楽科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<p>・講演を聞いて、授業改善に向けて前雨期になった。</p> <p>・できるようになっていく。生徒の実態に合わせてできることからコツコツやっていく、ということによって少し気楽になった。</p> <p>・生徒に教えてもらいながらできることをやっていっている。</p>	<p>・歌のテストで録音してみんなで聞きあう。 チャットで交流</p> <p>・小テストをタブレット活用</p> <p>・合唱コンクールの取り組みで、タブレットに音源を入れて持ち帰りで練習</p> <p>・音楽の創作で使えないか</p> <p>・音楽の聴き方お選ぶ 一人で聴くか みんなで聴くか。個人で選ばせる。</p>	

【数学科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持たせることはこれまでも大事だったのでそれを続けていく。 ・教師の関わり方 タイミング ・主体的、対話的な深い学び 目指すべき姿 ・無理やり使うことが目的ではない ・見方、考え方 ・単元デザインを大事にするなど、これまでの授業スタイルを中心にできるところからタブレットを活用していく ・子供たちが学習を選択するところがいいと思う。 ・社会科の情報量の多さ、すごい。授業の流れ、工夫されていた。 構想案を読んできた。内容が多い、深い。その中で情報を限定してある工夫がすごい。小学校ではいろいろなところからひっばってきて、收拾がつかなくなりがち。 振り返り、画面共有よかった。他社参照しながら、学びが深まっていく姿があった。 小中の内容量の違い。適切な資料を選んで、どう整理していくか。それをもとに議論するところがすごい。小学校は要約することで終わっている。意見交流をだれとするか、なぜするのかをどのくらいコーディネートするか？このような授業スタイルが多くなった時に、教師がどのように介入するのか。 ゆさぶりの発問。これまでは全体でしていたことを、部分的に。あえて誤答を出してみたり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドにノートの画像を貼る ・チャットで前時の振り返り ・スプレッドシートに張り付ける ・図形を動かす操作 ・クラスルームに本日の課題、やること。生徒が教科書を見て自分で解く ・e ライブラリーを活用している。 ・進行表と振り返りの入力に活用。 ・振り返りは全教科で共通のシートを使っている。 ・タブレットかノートか自分で選択する。 ・チャットで考えの共有、ノートを使っている生徒も写真を撮って共有。 ・図形など使いやすい領域で積極的に使う。 ・考えの共有に積極的に使う。 ・クラスルームに課題の掲示プリントの作成が不要、欠席の生徒への対応が簡単 ・小3、ようやく文字入力ができるように。[誤操作をふせぐために、Formsで行っている。自分で形態を選び、学び方を選択する練習を行う。 分数×分数 図を選んで演習する中で、共通点を探して交流する。生徒の考えをつなぐ。小学校では、考え方が異なるときには図が例示されている。考え方を選択→共有。説明する中で、対話交流する中で深めることがたくさんある。見通しを持つ段階でのずれも、 	<ul style="list-style-type: none"> ・可視化をどのようにするか ・他者参照 ・タブレットを活用した数式の入力が困難 ・

【理科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・理科は実験があるので、「タブレットの活用までは時間が不足しがち」・小学校で滞留の実験で画像で残せるから便利。 ・竜可撤の実験でなぜ上のほうを加熱するのかの説明。 ・実験の動画を見せるのはいい。NHKの動画、今は動画もいろいろあるので見せることが多い。 ・グーグルクラスルームの練習問題を活用している。 ・授業の流れ、見方・考え方を示す必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を見せる、クラウドの動画でもあとかでも見れるので活用している。 ・見方・考え方を示すカード ・実験結果の共有、共同編集 ・個別学習ができる単元を選び、実験道具を用意しておく ・単元シートに教科書のページ、資料集のページ、問題集を示す ・理科は単元によって、個別の学習ができる単元とそうでない単元があるのではないか ・振り返りはスプレッドシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットの効果、全員でやりとりして情報が入ってくるのか、使う言葉遣いが気になることはある ・教科ごとの教員が集まって、単元計画のベースや流れを作成することができるか？個人の負担になると、なかなかハードルが高い ・振り返りは毎時間必要か？その時間の確保が難しい

【保健体育科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方「する・みる・支える・知る」生涯スポーツにつながる→比較や着目などの他教科の視点を生かした学びが必要なのではないか 自分のやり方で学ぶ…本当にその生徒の意見や考えなのか？ ・教師の押さえ＝生徒の定着が不足している ・情報を限定して与えることが大切 特に低学年については必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から複線型で進んでいた→Wi-Fi環境の整備が進むと、様々な場面で活用できる ・単元計画の中でタブレットを使う時間を限定する or 置き換える ・無理して使うと活動時間が限定される知識を活用まで多くの時間が必要…休み時間や家庭学習、分析の時間を別に設ける ハードル走…雨天時にどのような練習が有効か考えさせる ・師範を YouTube でまかなえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で宿題が多い中で、宿題は可能なのか？ ・水泳の WS…授業内で完結させなければ考えると、時間内に終わらない、生徒に任せる形になった→書ける生徒・書けない生徒 ・ネットがつかない場所ではレポート作成は難しい ・生徒にとって体育の時間の捉え方は？ ・体を動かす楽しみが主体的に学ぶモチベーションになるのでは？ ・小学校は専門ではない先生がいる…させるだけになりがち…目的を明確に 習得・活用・探求 実技教科は習得に多くの時間をかける→習得・活用・探求にかかる時間の割合と、タブレットの活用例について

【技術・家庭科】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに見通しを持たせる ・単元デザインが重要 ・教師による介入の難しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の際、写真をスプレッドシートに張り付ける ・工程ごとのを貼ることにより各班の様子がそれぞれ一目でわかる ・県版ノートは授業前の復習の目的で活用している ・復習のまとめと学び方のまとめをスプレッドシートにまとめさせて振り返りをさせている 	<ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を掲示した方がよいのか、そうでないのか ・子どもたち主体の授業にした際になかなか知識の定着につながらなかったのか、いかに知識を定着させるか

【特別支援教育】

講演の感想	実践事例	お悩み相談
<ul style="list-style-type: none"> ・授業をみて、南小の実践がつながっているのが分かった。 ・見通しをもたせることが、特別支援でも大切。 ・学びを残していったり、上の思考にいくように ICT をつなげていく必要がある。 ・ICT が現代のインフラと感じた。 ・こういった段階を踏んで、今日の生徒の授業の姿になっていたのか。特別支援でどう ICT を使わせていくのか。困り感を少なくするためのツールになるとは思う。 ・低学年の子供が対象なので、クラウドでの活用が少し難しい。 ・生徒たちが見通しをもちやすいよう、学習の流れの提示等、生徒が安心できる学習環境づくりに努めたいと思った。 ・どの教科でも活用できると思った。友達や先生がいる環境の中では安心してタブレット活用できる。通常学級の中で支援が必要な生徒は情報量が多いのできちんと活用できているのか？と思う時がある。友達と協力してやっている ・有効活用は教科によって差がある。 ・授業の中に取り組むようにしている。 ・子どもによって能力差があるので、力になっているのか疑問がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字が上手でない子どもがタブレットを活用 ・知的クラスでグーグルクラスルームを活用。動画等、生徒一人一人が各端末でしっかり確認できるようにしている。フォームズを使って、各教科等のアンケート、集計に活用している。自立活動で生徒自身でフォームズを使って「自分クイズ」を作成。自分のことを知ってもらうことができた。 ・社会、理科での調べ学習。夏休みなどの感想文。添付用のイラストなどを検索し、みんなの前で発表する。一日の流れをクラスルームで表示する。聞き取りの学習。ダンスの動画、理科でメダカの血液が流れる様子の動画などを一人一人で見れるようにした。調理実習でのレシピを班員で共有。日常ではタイピング練習。交流クラスに入ったときにチャット、付箋機能を活用し、班や全体で共有。全盲の子ども、音声で操作。タイピングはホームポジションの練習をしてできるようになってきた。宿題で質問に答えるなどやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボード入力に課題がある生徒が入力しやすくするに、音声読み取りやフリック機能の活用がある。知的の子たちが、将来 ICT をどう使っていくのかを考えて、学んでいくのが良いのでは。 ・専門外の教科をどう教えたらいいかわからない。 ・「学ぶ意欲」、「自分で学ぶ」が特別支援は難しいので、どのように工夫していくか考えていく必要がある。また、学ぶ土台作りを生徒一人一人に対応していくことが課題。一人一人のパソコン操作、活用能力に差がある。情報モラル等も課題である。 ・全盲の子ども、漢字変換など不具合が多く、使用は難しい。支援に必要なアプリがあるといい。